

佐賀県神社庁報

第289号

★発行者 佐賀県神社庁

庁長 徳久 俊彦
佐賀市川原町八番二七号

★メールアドレス

hizen.sagaken-j-cho
@stf.orc.np.jp

神殿例祭の御案内

十一月十九日恒例による神社庁
神殿例祭を斎行致します。

天照坐皇大御神を始め、県内各
神社の御祭神並びに、国学の四大
人(荷田春満大人、賀茂真淵大人、
本居宣長大人、平田篤胤大人)の御
前に、日頃の御神恩に感謝申し上
げ、皇室の弥栄と我が国内外の平
穏、産霊の繁栄を祈念する祭典で
あります。

つきましては、標記の通り斎行
致しますので、神職はもとより、下
記役職を兼ねておられる皆様は御
参列賜りますよう、御案内申し上
げます。

◆後日お届けする往復はがきの返信面にて出欠をお知らせ下さい。
直会準備の都合上、**十一月十一日(金)**迄に投函願います。

一、期 日

令和四年十一月十九日(土)

午後三時斎行

一、場 所

平和会館三階「神殿の間」

一、案 内

神社庁役員、監事、協議員

教化委員、研修所講師、支部長

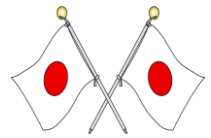
支部幹事、大麻幹事

県総代会役員、評議員

総代会支部長、各指定団体会長

ほか管内神職

十月 行事予定



祝祭日には国旗を
掲げましょう

六日 第五十七回

全国神社総代会大会

於札幌、パークホテル

九日 鏡神社秋季例大祭

十二日 佐嘉神社例祭

東松浦地区西支部神宮大麻・
曆頒布始奉告祭

於玄海町町民会館

於本庁

佐賀縣護國神社秋季例大祭

前夜祭

十三日 神社本庁評議員会

佐賀縣護國神社秋季例大祭

(~十四日)

十九日 稲佐神社例祭

二十三日 與賀神社例祭

二十五日 神社庁役員会

二十六日 伊萬里神社御鎮座一千二百
五十年記念奉祝祝賀会

於伊萬里迎賓館

二十九日 三養基地区支部神宮大麻・暦
頒布始奉告祭 於千栗八幡宮

十一月

八日 佐賀地区第二支部南神宮大

麻・暦頒布始奉告祭

於大堂神社

九日 階位検定試験

於福岡県神社庁ほか

十七日 庁長・総代会長会

於鹿児島県

十九日 神社庁神殿例祭 於平和会館

令和四年度

九州地区中堅神職研修(乙)開催

去る九月五日(月)から九日(金)に
かけて令和四年度九州地区中堅神職研
修(乙)が佐嘉神社記念館を主会場とし
て実施された。

本研修は、「神社界の中堅となるべき
神職の教養を培ふとともに特に神社庁
の運営の基礎能力を養ふ」ことを目的と
して実施され、当県では平成二十四年以
来の開催となった。当県を始め、九州各
県より十七名が受講し、十六名が修了。



研修実施にあた
り会場を提供戴い
た佐嘉神社 佐野
安正宮司を始め、
與止日女神社 山
崎隆臣宮司、また
各講義に向向戴い
た研修所講師各位
には改めて感謝申
し上げます。

令和四年度
国民精神昂揚運動合同研修会開催

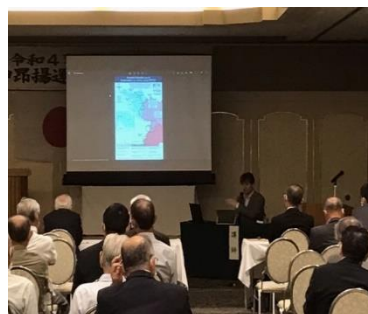
去る九月十二日(月)〜十三日(火)
にホテル龍登園において令和四年度国
民精神昂揚運動合同

研修会が、参加者は例
年の半数程度に留ま
ったが、三年ぶりに一
泊二日という従来と
同じ日程で開催され
た。



午後一時半より国
旗儀礼の後、開講式が

行われ、午後二時より神社本庁本宗奉贊
部長湯澤豊先生より「神宮大麻全国頒布
一五〇周年記念―全国の神社がなぜ神
宮大麻を頒布するのか―」と題して九十
分二コマの御講演を戴いた。



その後、午後六
時半よりは、感染
対策を講じた上で
の懇親会を開催し、
参加者は久しぶり
に交流を深めた。

翌十三日は、午
前七時半より朝拜
行事を行い、與止
日女神社山崎隆臣

宮司が奉仕。参会者一同にて大祓詞を奏
上その後、玉串を捧げ国旗を通して拝礼。
その後の講演は、先ず自衛隊の日頃の活
動にかかるDVDを上映、引続く講演で
は在日ウクライナ人で外交評論家のナ
ザレンコ・アンドリー先生より「自由を
守る戦い」と題して講演戴き、本年二月
よりのロシアによるウクライナ侵攻の
実情を詳しく聴き、終了に際しては聖寿
万歳を奉唱し、無事に二日間に亙る全日
程を終えた。

神宮大麻奉送

九月十五日、神社庁において神道青年会の奉仕により、本年度の神宮大麻奉送が行われ、神宮にて奉製された神宮大麻を県内支部毎に仕分けされた。

祭が順次斎行され、県下各家庭に向けて頒布活動が行われる。



奉仕戴きました神道青年会会員各位におかれては、この紙面を借りて改めて御礼申し上げます。

令和四年度 神社庁神宮大麻曆頒布始奉告祭

去る九月二十二日、平和会館三階「神殿の間」において神社庁神宮大麻曆頒布始奉告祭が斎行された。

斎主には村田副庁長、神道青年会より宮田彩子陶山神社禰宜、川浪雅英新北神社権禰宜、永代優仁妻山神社禰宜が祭員として奉仕した。当日は、徳久神社庁長、



南里総代会長を始め、五十五名が参列し、祭典は次第に則り斎行された。祝詞奏上の後の「神宮大麻授受」では、斎主より神社庁長へ、神社庁長から総代会長へ授受がなされた。

里総代会長より県下十三支部の総代会支部長へ神宮大麻・曆が手交され、各支部へと頒かたれた。

本年は、神宮大麻全国頒布百五十周年にあたり、記念表彰伝達式が併せて行われ、各被表彰支部、頒布従事者、特別の協力団体へ、表彰状と記念品が徳久神社庁長より伝達された。



神宮大麻全国頒布百五十周年記念表彰

一、支部

佐賀地区第二支部北小城地区支部

一、頒布従事者

七郎神社	宮司	百枝直人
八幡神社	宮司	北島巖
八幡神社	宮司	小野康行
榎田宮	宮司	執行安正
天子神社	宮司	北村建治
妻山神社	宮司	永代龍三郎
天山社	宮司	円城寺雄二
仁比山神社	宮司	朝日晃司
新北神社	責任役員 総代会長	垣内利秋
高志神社	総代	古賀安行
綾部八幡神社	総代	井上和幸
乙宮神社	総代会顧問	南里和幸
諏訪神社	総代会長	川上文件
妙見神社	総代	平澤義三
天満宮	総代	内田泰久
曲川神社	総代会長	空閑尊一
八幡宮	総代会長	三谷英史
稲佐神社	責任役員	片渕義房
味嶋神社	総代会長	宮崎繁則
天満神社	総代会長	平川哲男

一、特別な協力団体

佐賀県神社総代会
佐賀県敬神婦人会
佐賀県神道青年会

※被表彰者で、欠席の方の表彰状・記念

品は、各支部にお送り致しておりますので、支部での頒布始奉告祭の折等に伝達戴きますよう、お願い申し上げます。

神宮参与・同評議員会開催

九月二十八日(水)～二十九日(木)にかけて三年ぶりとなる「神宮参与・神宮評議員会」が伊勢に於いて開催された。当県からは徳久庁長以下、総勢九名が参加し、秋の伊勢を訪れ両正宮の参拝を含め、二日間の日程を終えた。

神宮評議員については、本年が改選にあたり、十二月三日に現評議員の任期が満了し、十二月四日より新たな任期が始まることとなっている。

佐賀県神社庁管内に於いては、神宮当局より二十名の評議員枠が示されており、神社庁役員七名(庁長は参与)、支部長十三名を推薦し、委嘱を受けることが慣例とされている。

今期新たに支部長に就任された方々には、来期より神宮評議員にも委嘱される予定ですので、その点御承知置きを戴き、引続き神宮奉賛活動への御理解と御協力をお願い申し上げます。

事務連絡

令和四年八月三十一日附教化発第一〇一号
神社本庁教化広報部長名・神社庁長宛

▼令和四年度家庭祭祀啓発チラシ送付の件

標記の件、例年の通り神宮大麻頒布活動等の一助となるやう作成致しました。特に、本年は神宮大麻全国頒布五十年にあたるため、神宮大麻の歴史について簡単に記載してをります。

つきましては、御参考までに見本紙一〇〇部をお送り致しますので、管内の神宮大麻頒布促進や家庭祭祀の振興のために積極的に活用方御推奨戴きたくお願い申し上げます。

尚、各神社からの要望については左記の通り対応致しますが、申込期限は令和五年二月末日とします。

また、本チラシは、『月刊若木』九月号に附録とする他、神職専用サイトをにて印刷用PDFデータを掲載します。



記

一、チラシ

家庭祭祀啓発チラシ A4判

両面四色刷上質紙

一、注文方法

別添注文書に左記の必要事項を

明記の上、FAX又はメール(PDFで添付)にてお申込み下さい。

注文書専用メール送付先

Katei@jinjahancho.or.jp

尚、注文用紙は『月刊若木』九月号に同封すると共に神職専用サイトにも掲載してをります。

【記入事項】

① 注文者(氏名・神社名・郵便番号・住所・電話番号・FAX番号)
② 納品先(注文者と異なる場合は記載願ひます。)

③ 数量(一〇〇部単位。別添料金表に無い数量の注文は、別途お問合せ下さい。)

④ 名入れ等の印刷の有無

⑤ 折加工の有無(名入れ印刷がある場合のみ受付します。折加工は別途加料金が掛ります。二つ折、三つ折、四つ折からお選び下さい。)

※・名入れ印刷の場合は、本庁より取扱ひ業者へ委託し、チラシの作製を行ひます。その際に業者より注文者へ

校正をお願いします。

・名入れ印刷の納期は、校了日(校正終了日)から約四〜六営業日を要します。

一、申込期限

令和五年二月末日迄

一、頒価

名入れ印刷代・折加工代(別添料金表参照)の実費と送料が着払ひとなります。印刷料金は印刷所の状況により、若干の変動が生じます。

一、その他

神職専用サイトの印刷用データをダウンロードし、各々で編集し、家庭用プリンタやネット印刷業者に発注して印刷することも可能です。

以上

令和四年九月二日附教化発第一〇四号
神社本庁総長名・神社庁長宛

▼「地域の伝統行事等のための伝承事業

(公開支援)」実施につき活用方推奨

の件

標記の件、左記の通り文化庁が行ふ「地域の伝統行事等のための伝承事業(公開支援)」について相談窓口が設置

され伝統行事等に各種の支援が行はれることとなりました。

つきましては、貴管内神社に周知戴き、本事業の有効な活用を賜りますやうお願い申し上げます。

尚、過疎地域神社活性化推進施策の指定神社、推進拠点に対しては別添の通り通知しました。

記

一、概要

地域の伝統行事や民族芸能等は、新型コロナウイルス感染症の影響により、行事等の開催が困難となつてゐる。このやうな状況に対し、文化庁の令和三年度補正予算事業「地域の伝統行事等のための伝承事業(公開支援)」において、相談窓口を設置し、全国の伝統行事等の保存会などへ技術提供を行ふことにより、伝統行事等の公開を支援するもの。

一、設置期間

相談窓口は、令和四年十二月頃まで開設予定

一、相談窓口

公益財団法人日本郷土芸能協会
内
地域の伝統行事等のための伝承

事業(公開支援) 事務局

電話〇三六八九一―九四五七

受付時間 月〜金曜日 午前十時〜午後六時(土・日・祝日休)

一、支援対象

- 1、国や地方公共団体に指定された無形民俗文化財
- 2、未指定の伝統行事や民族芸能等

一、支援内容

- 1、準備から伴走するオンライン配信等を活用した新型コロナウイルス対策支援
- 2、新型コロナウイルス対策のための入場管理支援
- 3、放送ネットワークを活用した映像制作と情報発信
- 4、プロによる伝統行事等の撮影とオンラインによる情報発信
- 5、技術スタッフによる現場支援
- 6、機材貸出による技術サポート
- 7、開催地沿線の鉄道広告での情報発信

※詳細は別添チラシ・相談窓口

Web

(<http://dentou-koukai.jp/>)
を参照下さい。

一、その他

- ・来年三月までに実施予定のものについて相談を受付ける。
- ・予算の執行状況によっては、相談窓口の設置期間が短くなることもある。

- ・各種保存会等任意団体の他、神社からの相談にも応じる。
- ・支援の提供にあたっては、対象となる経費の負担は生じない。
- ・本事業の広報用チラシ(同封チラシ)の追加が必要な場合には神社本庁教化課までご相談下さい。

※広報用チラシ同封(宮司)

以上

令和四年九月七日附本奉発第六一号
神社本庁総長名・神社庁長宛

▼神宮大麻啓発標語幟旗送付の件

標記の件、神社本庁では、神宮大麻全国頒布百五十周年記念事業の一環として募集・決定した神宮大麻啓発標語を使用した神宮大麻啓発幟旗を作製致しましたので貴庁管内神社へ配布戴き、社頭等で掲示、設置するなど御活用下さい。つきましては、別便を以て貴庁管内宮司分と貴庁見本分(十枚)をお送り致しますので、お取り計らひのほど宜しくお願い

願ひ申し上げます。

尚、追加送付を希望される場合には、神社本庁本宗奉賛部まで御連絡願ひます。

以上

令和四年九月七日附本奉発第七七号
神社本庁総長名・神社庁長宛

▼神宮大麻啓発標語チラシ並びにポスター送付の件

標記の件、神社本庁では、神宮大麻全国頒布百五十周年記念事業の一環として募集・決定した神宮大麻啓発標語を使用した神宮大麻啓発チラシ並びにポスターを作製致しました。

つきましては、左記の通り、別便を以て九月二十日着にて貴庁管内にて、周知活用方お願ひ申し上げます。また、幟旗についても、同日着にてお送りします。御承知置き願ひます。追加送付を希望される場合には、神社本庁本宗奉賛部まで御連絡願ひます。

記

- 一、チラシ送付数 一、〇〇〇枚
- 一、ポスター送付数 五〇〇枚

以上

啓発標語チラシ



表

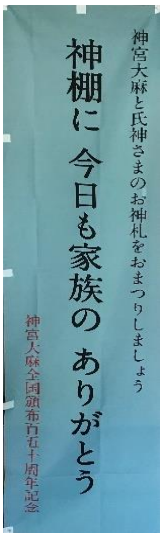
裏



啓発標語ポスター



啓発標語幟旗



令和四年九月七日附本奉送第八〇号
神社本庁総長名・神社庁長宛

▼「第五十一回初穂曳」参加者募集中止の件

標記の件、毎年十月十五日に実施してをります「初穂曳」につきまして、本年度の奉曳は、地元の伊勢神宮奉仕会の協議の結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地元関係者により執り行はれることとなりました。このため、例年行つてゐる奉仕者の募集を中止致します。

尚、初穂の献納につきましては、例年通り伊勢神宮崇敬会にて取り纏めを致します。献納される場合は、別紙参照の上、十月五日(水)必着でお送り下さい。つきましては、貴庁管内へその旨御周知の程、宜しくお願ひ申し上げます。

以上

令和四年九月十四日附教化発第一〇九号
神社本庁教化広報部長名・神社庁長宛

▼「共同社報 令和四年秋版」活用方推

奨の件

標記の件、左記のデータを作製し、神職専用サイトに掲載致しましたので、貴管内神社での活用につき推奨戴きますやうお願ひ申し上げます。

また、今後も各神社での教化活動に資するべく様々のデータを神職専用サイトに掲載して参りますので、貴管内神職には本サイトの閲覧登録と海洋につき、合はせて推奨願ひます。

記

一、作製物

「共同社報 令和四年秋版」

A4判 カラー両面刷

PowerPoint データ 神社名と連絡先を入力するだけで簡単に各

神社の社報を作製することができ

ます。

左記部分の文字の入力、差替へてのプリンター印刷が可能です。

(表面) 題字(〇〇神社社報 令和四年秋版)・巻頭言・イラスト・顔写

真

(裏面) 神社連絡先・コラム記事・祈祷

案内

一、その他

御不明な点がございましたら、

教化課宛に御連絡下さい。

(神社本庁教化広報部教化課)

電話番号 〇三一二七九八〇一六

メールアドレス kyoka@jinjahancho.or.jp

以上

令和四年九月二十八日附広国発第一三三号
神社本庁教化広報部長名・神社庁長宛

▼氏子のしおり第六十号『暦にまつわる季節のまつり』発行の件

標記の件、教化広報活動の一環として新たに「氏子のしおり」を作成致しました。

つきましては、貴庁宛に同誌を十部送付致しますので御活用戴きますとともに、左記の通り頒布致しますこと、御承知置き願ひます。

尚、管内神職各位へは十月一日発行の『月刊若木』第

八八〇号に、本誌発行にかかる紹介記事を掲載するとともに附録として同封致しますので、あ

はせて御承知置き下さい。

記

一、頒布価格

神社庁価格

六九三円(税込・十部)

一般価格

七七〇円(税込・十部)

※申込みは十部単位となります。



※送料は実費御負担戴きます。
一、取 扱

神社新報社
電話〇三(三三七九)八二二二
FAX〇三(三三七九)八二二三
以上

令和四年九月二十八日附教化発第一一七号
神社本庁教化広報部長名・神社庁長宛

▼氏子意識啓発冊子『氏子―氏神さまと
のかかわり―』発行の件

標記の件、各種の報告書等から氏子意識の希薄化が懸念されてをり、神社の振興を図る上でも氏子を結集した共同体意識の涵養は必要不可欠であることから氏子意識の啓発を目的として、本教化冊子を発行しました。

つきましては、本教化資材を御活用戴きたく左記事項を管内神社へ周知戴くとともに、見本として二〇部を送付します。



すので御查收願ひます。
尚、本資材については『月刊若木』十月号付録として、紙面でも紹介してをります。

記

一、教化資材

氏子意識啓発冊子
『氏子―氏神さまとのかかわり―』
一、頒 価
無料(送料は、神社庁宛は無料、管内神社宛は着払ひとなります)

一、注文方法

希望部数、發送先住所、電話番号を御記入の上、教化広報部宛にメールで御注文願ひます。
(メール不可の場合はFAX可。)

メール kyoka@jinjahancho.or.jp
FAX 〇三(三三七九)八二九九

一、名入印刷

裏表紙に余白を設けてあり、社名や連絡先等のスタンプ押印、名入れ印刷が可能となつてをります。

この余白部分に神社名等の名入れ印刷を実費有料でお受けします。左の申込要領に従つて申込みをお願いします。

■【名入れ印刷】

■申込書

別添「氏子意識啓発冊子名入れ印刷申

込書」に必要事項を記入戴き、FAXでお申し込み下さい。

■料金(何れも税別金額)

①印刷料金(詳細は別添案内の通り。一、〇〇〇部以上はお問合せ下さい)
三〇〇部まで二、五〇〇円・四〇〇部まで三、〇〇〇円
五〇〇部まで三、五〇〇円

②版代

五〇〇部まで五、五〇〇円・一、〇〇〇部まで七、〇〇〇円
一、〇〇一以上は八、五〇〇円

③發送作業費

梱包一個あたり六〇〇円
※一箱上限四〇〇〜六〇〇部程度

①②③の合計金額に送料実費・代引き手数料が加算され、着払ひで請求されます。

■備考

・名入れ印刷する項目は、神社名、宮司名、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、の六項目を基本とします。

・印刷様式は申込書の印刷サンプルに準じて印刷します。

・現行をデジタルデータで提供戴ければ、そのまま入稿しての印刷も承ります。

ます。
・納期は校了日(校正終了日)から四
〇六営業日が目安となります。
以上

◆◆教化委員たより◆◆

鏡神社宮司 重藤 薫範

今回は、共同社報の活用についてお伝
えしたいと思います。

神社本庁神職専用サイト用ホームペ
ージにて、共同社報の提供が四季毎に提
供されており、ダウンロードして編集・
活用できる様になっています。編集は、
マイクロソフト社のパワーポイントと
いうソフトで編集します。お持ちでない
方はウェブ版のパワーポイントが無料
(マイクロソフト社への登録等が必要)
で使用できる様です。

共同社報は、時期に合わせた内容や神
社の豆知識などが既に編集されており、
神社名や連絡先等を編集するだけで社
報としてすぐに利用できる様になっ
ています。

また記事の一部を、神社状況に合わせ
た編集や校正が可能です。編集可能部分
についてはデータ(ファイル)を開くと
説明がありますので、そちらをご参照く
ださい。

社頭掲示板や頒布用に複数枚印刷し
て社頭に置いてみては如何でしょう
か？

神職専用サイトについて

神職専用サイトは登録制となってお
り、若木の最終頁にサイトアドレスが書
かれています。またQRコードが書いて
ありますので、スマートフォン・タブレ
ットからですとより簡単に登録閲覧す
る事が可能です。登録時に必要なID番
号は月刊若木の宛名ラベルの右下に七
桁の番号が印字してあります。

神職専用サイトは共同社報の他に
様々な情報や強化広報のチラシのデー
タ等多岐にわたり公開がされておりま
す。

神職専用サイトへの登録を是非とも
して頂き、ご活用をお願い致します。

研修修了報告

神社本庁総合研究所

▽中央研修会

一、期日

令和四年八月十日(水)

〃十一日(木)

計一日間

一、開催地

ホテル・フブラ王山

一、修了者

熊野神社宮司 石橋 明彦

計一名

▽神社庁祭祀舞指導者養成研修会

一、期日

令和四年九月二日(金)

〃四日(日)

計二・五日間

一、開催地

國學院大學

一、修了者

陶山神社禰宜 宮田 彩子

山口県神社庁研修所

▽階位検定講習会(権正階)

一、期日

令和四年八月十二日(火)

〃九月十二日(月)

計三十日間

一、開催地

山口県神社庁

一、修了者

綾部八幡神社禰宜 藤崎ますみ

妻山神社禰宜 永代 優仁

伊勢神社禰宜 古川 恭子

佐嘉神社宮掌 山下 美幸

佐賀県神社庁研修所

▽九州地区中堅神職研修(乙)

一、期日

令和四年九月五日(月)

〓九日(金)

計五日間

一、開催地

佐嘉神社記念館ほか

一、修了者

堤雄神社禰宜	橋富太市郎
熊野神社宮司	落合 三城
太宰府天満宮権禰宜	味酒 安儀
佐嘉神社権禰宜	福川 明成
生目神社宮司	高妻 和寛
大津日吉神社禰宜	坂本 尚文
岡山神社宮司	栗原 潔
太宰府天満宮権禰宜	松吉 保知
諫早神社宮司	宮本 健一
土器山八天神社宮司	朝日 芳彦
太宰府天満宮権禰宜	熊谷 誠人
幣立神社禰宜	春木早紀子
宮地嶽神社権禰宜	植木 貴房
劍柄稻荷神社権禰宜	宮永 勝
太宰府天満宮権禰宜	友田 孔大
八幡宮宮司	田川 美波

▽国民精神昂揚運動合同研修会

一、期日

令和四年九月十二日(月)

〓十三日(火)

計一日間

一、開催地

ホテル龍登園

一、修了者

川浪 勝英	松園 家晴
川浪ひとみ	笠原 猛
村田 直敏	永代龍三郎
西寄 萬	中村 勝正
東 正弘	北島 巖
吉戒 雅臣	北村 建治
栗原 潔	有森 龍弘
永井 孝徳	徳久 俊彦
百枝 直人	佐野 安正
重藤 薫範	藤田 俊介
石橋 明彦	落合 洲造
岡本 長世	野崎 洸史
戸川 健士	名和 長高
宮崎 浩司	

以上、二十七名

■石井 和明 氏

太良嶽神社宮司(二級)

令和四年九月三十日逝去

(享年 六十八)

謹んでお悔やみ申し上げます

【任免】

■妙見神社権禰宜 本城 万里

唐津市藤崎通

妙見神社宮司代務者に任ずる

令和四年十月一日

■妙見神社宮司代務者 本城 万里

唐津市高島

兼ねて塩屋神社宮司代務者に任ずる

唐津市二夕子

兼ねて二夕子神社宮司代務者に任ずる

る

令和四年十月一日

■佐賀縣護國神社権禰宜 松田 晃

唐津市鏡

鏡神社権禰宜に任ずる

令和四年十月一日

■新北神社権禰宜 川浪 雅英

佐賀市川原町

佐賀縣護國神社権禰宜に任ずる

事務報告

【神職帰幽】

■佐賀縣護國神社権禰宜 川浪 雅英
佐賀市諸富町
兼ねて新北神社権禰宜に任ずる
令和四年十月一日

【昇級】

■陶山神社禰宜 宮田 彩子
■唐津神社禰宜 戸川 健士
神職身分二級とする
令和四年九月一日

■龍造寺八幡宮宮司 江頭 廣宣
神職身分二級上とする
令和四年九月十日

【御垣内特別参拝許可願申請報告】
■伊勢神社宮司 古川 和生
・参拝日 皇大神宮
令和四年九月十二日
豊受大神宮

・員数 代表 第九九代伊勢会
中野武志大神 他二四名
■伊勢神社宮司 古川 和生
・参拝日 皇大神宮

令和四年九月二十日
豊受大神宮
令和四年九月十九日
代表
・員数 北島 千夏子 他一名

■武雄神社宮司 武雄 哲司
・参拝日 皇大神宮
令和四年九月二十八日
豊受大神宮

・員数 代表
武雄 哲司 他四名

寄贈書籍等目録並びに御芳名

自 令和四年九月 一日
至 全 三十日

・高知県神社庁報 第八五三号
高知県神社庁 様
・國學院大學 院友會報 No.三八一
一般財団法人國學院大學院友会 様
・平安樂土 第八九号
平安神宮 様
・広島県神社庁報二葉 第一四八号
広島県神社庁 様

・神政ひろしま 第二八号
神道政治連盟広島県本部 様
・すいとく 第八一八号
竹駒神社 様

・宮崎県神社庁報
宮崎県神社庁 様

・滋賀縣神社廳報 No.二〇九
滋賀県神社庁 様

・令和御大典記念事業記録誌
台風の爪痕―台風被害記録誌―
千葉県神社庁 様

・令和2年7月4日に起こったこと
祭起動―さいきどう―
青井阿蘇神社宮司 福川義文 様

・國學院雜誌 令和四年九月号
國學院大學文学部資料室 様

七五三授与品(千歳飴・同袋)
その他授与品について

随時受け付け中です。
御入り用の際は神社庁まで
御連絡下さい。

https://shinshoku.jinjahoncho.or.jp/

神職専用サイトのスマホ



イラスト素材集

- 神札・神棚
- 手水・参拝作法
- 数植物
- 人物
- 季節・年中行事
- 十二支
- 人生儀礼
- 冠イイメージ
- 多言語記載標識
- ピクトグラム etc...

各種資料・資料



階位・研修関係



過疎地域神社活性化

- 神社長課対策事例(「教化モデル」神報掲載)
- 公的支援金活用案内 etc...

この他にも、災害対策要領や「代表役員」に求められる方へ、
 教化実践目標、教養研究会大会報告、神式式頒布向上計画
 など、さまざまな資料をご用意しております。
 定期的に更新していきますので是非ご利用ください。

*「神社本庁神職専用サイト」は、本庁(佐賀)神社の神職のみ利用可能なウェブサイトです。

新規登録までの流れ

① ID番号を確認



まず「月持若木」の住所ラベル
 をご利用ください。
 右下に記載された7桁の数字が、
 あなたのID番号(専用サイト
 への登録に必要な番号)です。

② サイトへアクセス



神社本庁公式ウェブサイトから
 のリンクはご利用できません。
<https://shinshoku.jinjahoncho.or.jp/>
 のURLへ直接アクセス
 してください。

③ フォームの必須事項をそれぞれ入力



それぞれID、神社名、姓、名、
 メールアドレスを正確に入力
 してください。

④ 登録ボタンをクリック



この入力したIDは「月持若木」住所
 ラベル右下の7桁の数字
 です。11月末日までに既
 登録済の方は、そのまま
 続けてお使いください。

⑤ 承認までお待ちください



承認されると、上の欄名IDとパス
 ワードを記載したメールが送信され
 ます。ご利用可能なようになります。
 入力済みのメールアドレスは各自
 でパスワード変更が可能です。